

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】令和 2 年 6 月 25 日 (2020.6.25)

【公表番号】特表 2019-525511 (P2019-525511A)

【公表日】令和 1 年 9 月 5 日 (2019.9.5)

【年通号数】公開・登録公報 2019-036

【出願番号】特願 2018-561217 (P2018-561217)

【国際特許分類】

H 0 4 W 16/26 (2009.01)

H 0 4 W 4/33 (2018.01)

H 0 4 W 16/20 (2009.01)

【F I】

H 0 4 W 16/26

H 0 4 W 4/33

H 0 4 W 16/20

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 5 月 14 日 (2020.5.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

無線信号カバレッジを提供する装置であって、
無線信号トランシーバと、
ゾーン内で前記無線信号トランシーバを移動させる変位アセンブリと、
前記ゾーン内の無線信号カバレッジと、前記無線信号カバレッジにアクセスするように動作可能な無線装置の前記ゾーンに対する位置とに基づいて、前記無線信号トランシーバを移動させるために前記変位アセンブリを制御するように構成されたプロセッサと、
を備える装置。

【請求項 2】

複数の無線装置に無線カバレッジを提供するように構成され、前記プロセッサが、前記複数の無線装置の優先順位に基づいて前記変位を制御するように構成されている、請求項 1 に記載の装置。

【請求項 3】

前記装置の移動経路上の障害物の存在を検出する障害物センサを更に含み、前記プロセッサが、障害物検出に基づいて、前記変位アセンブリの移動を制御するように構成されている、請求項 1 又は 2 に記載の装置。

【請求項 4】

前記プロセッサが、前記無線装置の使用に基づいて、前記変位アセンブリの移動を制御するように更に構成されている、請求項 1 又は 2 に記載の装置。

【請求項 5】

前記無線装置の位置が、音声認識コマンド、GPS 信号、三角測量、赤外線信号検出、振動検出、オーディオ検出、及びユーザ行動履歴の少なくとも 1 つに基づいて決定される、請求項 1 又は 2 に記載の装置。

【請求項 6】

ゾーンにおける無線信号カバレッジを提供する方法であって、

前記ゾーン内の前記無線信号カバレッジと、前記無線信号カバレッジにアクセスするように動作可能な無線装置の前記ゾーンに対する位置とに基づいて、無線信号カバレッジを提供する可動装置の移動を制御することを含む方法。

【請求項 7】

複数の無線装置に無線カバレッジを提供することを更に含み、前記制御は、前記複数の無線装置の優先順位に基づく、請求項 6 に記載の方法。

【請求項 8】

前記装置の移動経路上の障害物の存在を検出することと、
障害物検出に基づいて、前記装置の移動を制御することと、
を更に含む、請求項 6 又は 7 に記載の方法。

【請求項 9】

前記無線装置の使用に基づいて、前記装置の移動を制御することを更に含む、請求項 6 又は 7 に記載の方法。

【請求項 10】

前記無線装置の位置が、音声認識コマンド、GPS 信号、三角測量、赤外線信号検出、振動検出、オーディオ検出、及びユーザ行動履歴の少なくとも 1 つに基づいて決定される、請求項 6 又は 7 に記載の方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0065

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0065】

多くの更なる修正及び変形が、前述の実例的な実施形態を参照すれば、当業者の心に浮かぶであろう。前述の実例的な実施形態は、例としてのみ与えられ、本発明の範囲を限定するようには意図されていない。本発明の範囲は、もっぱら添付の特許請求の範囲によって決定される。特に、相異なる実施形態からの相異なる特徴は、適切な場合に交換されてもよい。

上述の実施形態の一部又は全部は、以下の付記のように記載され得るが、以下には限定されない。

(付記 1)

無線信号カバレッジを提供する装置であって、

無線信号トランシーバと、

ゾーン内で前記無線信号トランシーバを移動させる変位アセンブリと、

前記ゾーン内の無線信号カバレッジと、前記無線信号カバレッジにアクセスするように動作可能な無線装置の前記ゾーンに対する位置とに基づいて、可動装置を移動させるために前記変位アセンブリを制御するように構成されたプロセッサと、
を含む装置。

(付記 2)

前記無線信号トランシーバが、ネットワークへのアクセスを提供する、付記 1 に記載の装置。

(付記 3)

前記装置が、WiFi 中継器を含む、付記 1 に記載の装置。

(付記 4)

前記装置が、ゲートウェイの一部である、付記 1 又は 2 に記載の装置。

(付記 5)

前記無線信号カバレッジが、前記ゾーンで測定された受信信号強度インジケータに基づいている、付記 1 又は 2 に記載の装置。

(付記 6)

前記装置の移動経路上の障害物の存在を検出する障害物センサを更に含み、前記プロセ

ッサが、障害物検出に基づいて、前記変位アセンブリの移動を制御する制御信号を生成するように構成されている、付記 1 ~ 5 のいずれか一項に記載の装置。

(付記 7)

前記プロセッサが、前記無線装置の使用に基づいて、前記変位アセンブリの移動を制御する制御信号を生成するように更に構成されている、付記 1 ~ 6 のいずれか一項に記載の装置。

(付記 8)

前記無線装置の位置が、音声認識コマンド、GPS 信号、三角測量、赤外線信号検出、振動検出、オーディオ検出の少なくとも 1 つに基づいて決定される、付記 1 ~ 7 のいずれか一項に記載の装置。

(付記 9)

前記無線装置の位置が、ユーザ行動履歴に基づいて予測される、付記 1 ~ 8 のいずれか一項に記載の装置。

(付記 10)

複数の無線装置に無線カバレッジを提供するように構成され、前記プロセッサが、前記複数の無線装置の優先順位に基づいて前記変位を制御するように構成されている、付記 1 ~ 9 のいずれか一項に記載の装置。

(付記 11)

ゾーンにおける無線信号カバレッジを提供する方法であって、

前記ゾーン内の前記無線信号カバレッジと、前記無線信号カバレッジにアクセスするように動作可能な無線装置の前記ゾーンに対する位置とに基づいて、無線信号カバレッジを提供する可動装置の移動を制御することを含む方法。

(付記 12)

前記装置の移動経路上の障害物の存在を検出することと、障害物検出に基づいて前記装置の移動を制御する制御信号を生成することとを更に含む、付記 11 に記載の方法。

(付記 13)

前記無線装置の使用に基づいて、前記装置の移動を制御することを更に含む、付記 11 又は 12 に記載の方法。

(付記 14)

前記無線装置の位置が、音声認識コマンド、GPS 信号、三角測量、赤外線信号検出、振動検出、オーディオ検出の少なくとも 1 つに基づいて決定される、付記 11 ~ 13 のいずれか一項に記載の方法。

(付記 15)

付記 11 ~ 14 のいずれか一項に記載の方法を実行するための命令を自らに格納した非一時的なコンピュータ可読記憶媒体。